

2021年度（2022年3月期） 第2四半期連結決算概要および通期見通し

1.2021年度 第2四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収増益：増収・増益はともに2期ぶり（純利益ベース）

都市ガス販売量	+150百万m ³	工業用（発電専用）需要家の稼働増 春先の高気温影響による家庭用需要減等
電力販売量	+1,444百万kWh	小売件数増および卸供給先の需要増による販売量増
売上高	+446億円	「海外」における北米上流事業の売上高増等
営業費用	+508億円	原油価格上昇影響などによる「ガス」の原材料費増等
営業外損益	+27億円	持分法による投資損益 +23億円
特別損益	+119億円	(当期) 投資有価証券売却益 +28億円 (前期) 負ののれん発生益 +20億円 減損損失 △64億円 投資有価証券評価損 △46億円

(※)2020年度に企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年度に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映。

<2021年9月末現在連結会社数：連結子会社 108社、持分法適用関連会社15社> (単位:億円)

決算実績表	2021年度2Q	2020年度2Q	増減	%
売上高 (歴代5位)	8,726	8,280	446	5.4
営業費用	8,272	7,764	508	6.6
営業利益 (歴代11位)	453	516	△63	△12.2
経常利益 (歴代9位)	463	497	△34	△6.9
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代8位)	318	278	40	14.5

<参考値> (符号は利益に対する影響を示す)

スライドタイムラグ(※)	△309	84	△393
年金数理差異償却額影響	54	4	50

(※)原料費調整制度において原油価格の上昇(下落)に伴う原材料費の増加(減少)が売上高の増加(減少)に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2021年度2Q	2020年度2Q	増減
為替レート(¥/\$)	109.81	106.93	2.88
原油価格(\$/bbl)	70.29	36.47	33.82
平均気温(°C)(※)	21.5	21.3	0.2

(※)お客さまそれぞれのご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものを。

(2)都市ガス・電力販売量

		2021年度2Q	2020年度2Q	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m ³	1,135	1,242	△107	△8.6
	業務用	百万m ³	1,022	1,059	△37	△3.4
	工業用	百万m ³	2,838	2,469	369	14.9
	計	百万m ³	3,860	3,527	333	9.4
	他事業者向供給	百万m ³	724	800	△76	△9.5
	合計	百万m ³	5,719	5,569	150	2.7

家庭用：春先の高気温影響による需要減
業務用：夏場の低気温影響による空調需要減
工業用：発電専用需要家の稼働増
他事業者向供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：8,762 (対前期△213) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,132 (対前期+127) ※取付メーター数は、休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

		2021年度2Q	2020年度2Q	増減	%	
電力	小売	百万kWh	4,949	4,885	64	1.3
	卸他	百万kWh	8,296	6,917	1,379	19.9
	合計	百万kWh	13,245	11,801	1,444	12.2

小売：件数増による販売量増

卸他：卸先の需要増

小売お客さま件数(千件)：2,876 (対前期+354) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2021年度2Q	2020年度2Q	増減	%	2021年度2Q	2020年度2Q	増減	%
ガス	5,618	5,440	178	3.3	344	478	△134	△28.1
電力	1,937	1,955	△18	△0.9	82	131	△49	△37.8
海外	378	191	187	97.2	105	17	88	509.9
エネルギー関連	1,477	1,541	△64	△4.1	67	57	10	18.8
不動産	284	229	55	24.2	86	42	44	102.5
その他	485	524	△39	△7.4	7	15	△8	△48.9
調整額	△1,456	△1,602	146	-	△218	△228	10	-
連結	8,726	8,280	446	5.4	474	513	△39	△7.7

(注)・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。

・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。

・「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業(液化石油ガス、産業ガス)、LNG販売等。

・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、EPC事業(工場・ビル・プラント等)、EPC事業(工場・ビル・プラント等)、ガス器具、ガス工事、建設等。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	2021年度2Q	2020年度2Q	増減		2021年度2Q	2020年度2Q	増減
設備投資	970	1,219	△249	D/Eレシオ	1.04	0.92	0.12
営業キャッシュ・フロー	1,300	1,136	164	ROA	1.1	1.1	0.0
有利子負債	12,307	10,659	1,648	ROE	2.7	2.4	0.3

(注)有利子負債、D/Eレシオは2021年3月末との比較

2.2021年度 通期見通し <対前回(7.28)見通し>

(1)通期見通しのポイント

対前回 増収増益 対前期 増収増益 (純利益ベース)

都市ガス販売量	+106百万m ³	発電需要増に伴う工業用の増等
電力販売量	△615百万kWh	卸販売量減等
売上高	+180億円	「ガス」の売上増+125億円(販売単価増等)、海外+27億円(油価上昇に伴う売上増)等
営業費用	+100億円	「ガス」の営業費用増+88億円(原材料費単価増等)等
営業利益	+80億円	海外+56億円、ガス+37億円、電力+33億円、エネルギー関連△29億円等

※3Q以降の経済フレーム(原油価格65\$/bbl→70\$/bbl、為替レート110円/\$)

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	2020年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	12,382	12,276	106	0.9	12,990	△608	△4.7
電力販売量(百万kWh)	26,964	27,579	△615	△2.2	24,761	2,203	8.9
売上高	19,700	19,520	180	0.9	17,651	2,049	11.6
営業費用	18,700	18,600	100	0.5	16,874	1,826	10.8
営業利益	1,000	920	80	8.7	776	224	28.7
経常利益	930	830	100	12.0	705	225	31.9
親会社株主に帰属する当期純利益	670	600	70	11.7	495	175	35.3

経済フレームほか	今回	前回	増減	2020年度	増減
為替レート(¥/\$)	109.91	109.88	0.03	106.10	3.81
原油価格(\$/bbl)	70.15	65.48	4.67	43.35	26.80
平均気温(°C)	16.3	16.4	△0.1	16.5	△0.2
スライドタイムラグ(億円)	△242	△248	6	△121	△121

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度(3Q以降) (単位:億円)

	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	15	24	△9
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	3	13	△10